

ダイナミックAACゴール・グリッド (DAGG-3) 第3版

DAGG-3って何?

- 専門家があらゆるレベルのコミュニケーター（コミュニケーションする人）を対象に、AAC（拡大・代替コミュニケーション）の目標を立て、それを達成するための無料のアセスメントツール
- 専門家がAACを使ってコミュニケーションする人への介入計画を立てるのに役立つ
- 言語聴覚士（米国）が患者のサポートチーム（家族や教育者など）と協力して、現在のコミュニケーション能力を評価し、進歩させることができる
- 言語聴覚士が適切なAAC目標を選択し、進捗を管理できるようにする
- 萌芽期の学習者から高度なコミュニケーターまで幅広くこの方法を用いることができる

DAGG-3を使うメリット

- 一人一人のコミュニケーション能力を評価（および再評価）する体系的な方法を提供する
- コミュニケーションの自立に向けた長期的な計画を立てるためのツールを提供する
- すべてのコミュニケーション・スキル領域にわたって、AACをうまく使うことができるように促す
- IEP(Individualized Educational Plan 米国の個別教育プログラム) 目標作成をサポートする

ステップ1

現在のコミュニケーション能力のレベルを明確にする

能力レベル / スキル

ステップ2

各コンピテンシー(スキル)分野の目標を見直し、すでに達成された目標 (GM) に印を付け、重点的に取り組むべき潜在的なコンピテンシー分野を特定する

合図(促し)のチェーン

すべての環境において自立を促す

ステップ3

それぞれの目標に必要なサポートのレベルを決める

ステップ4

実施方法と指導法を明確にする

- チャンスをとらえる
- あらゆるコミュニケーションの試みに意味を持たせる
- ポジティブなコミュニケーション環境を作る
- やってみせる (モデル)
- うまくいく方法を探す

サンプル

ステップ5

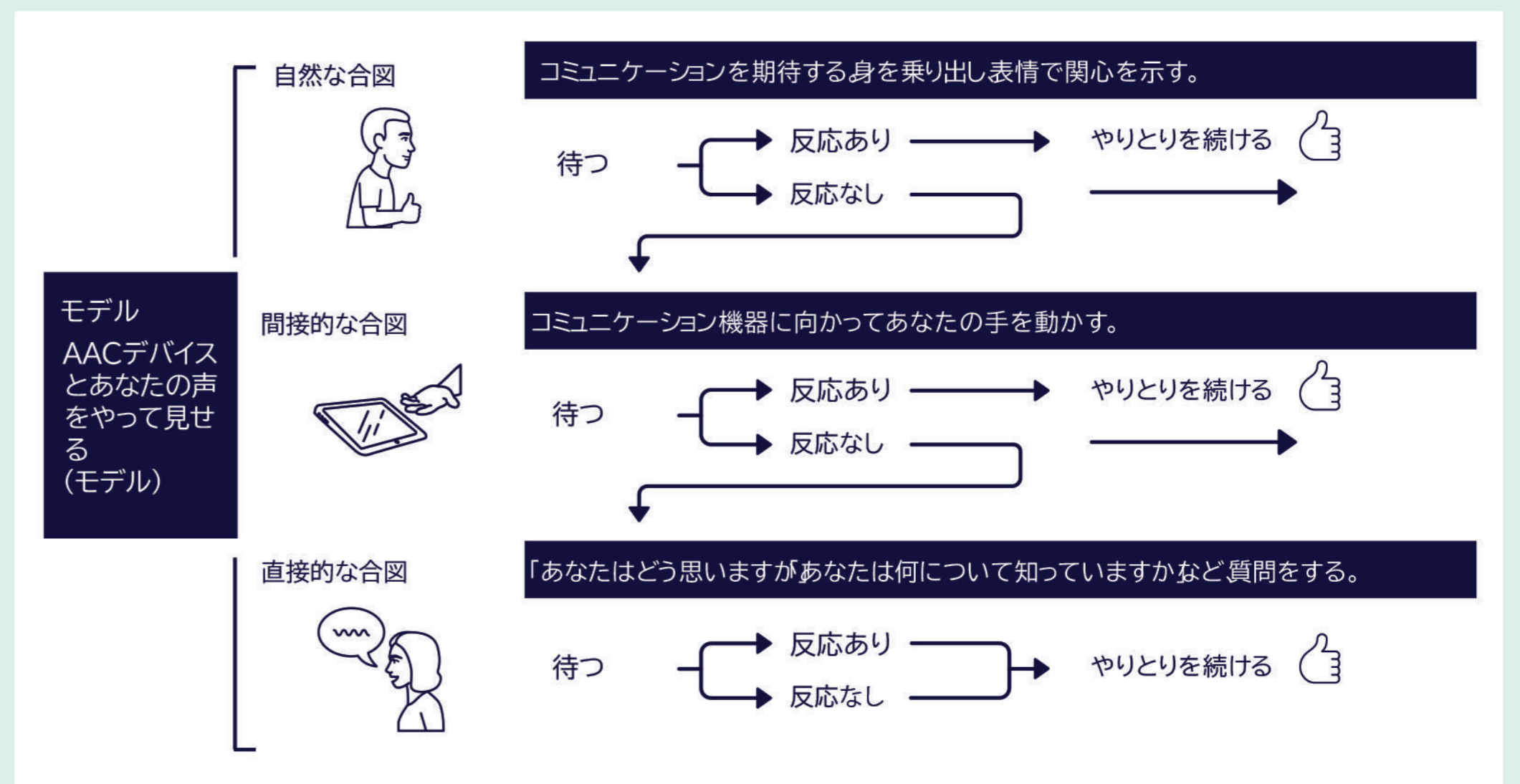
実施計画と目標進の進捗状況レポートを記入する

ステップ6

1ページ目の進捗状況の概要を記入する

進捗状況の概要

萌芽期	萌芽期からの移行期	文脈依存	自立期への移行期	自立期
言語	操作	社会性	方略	



目標 (AAC目標 グールグリッドより)	必要な活動内容と材料	コンピテンシー分野	促し(合図)のレベル				基準に対する % または発生回数	慣れた、または慣れていないタスクや相手
			N	I	D	M		
あらかじめ選んだ話題やテーマについて書くとき、最初のフレーズから文章を完成させることができる	穴埋め文書作成	言語		X			70%	グループ活動で慣れている
日常活動の中で、意図的に、一般的なものや動機を与えるもの、人の名前を選ぶ	モンスター・トラック・ラリーのビデオから名前を付ける	社会性	X				75%	慣れている
一日中、ジェスチャーや視線、AACの語彙を使って、AACをあちこちに移動させたり、他の人に指示したりして、AACを近くに置き、使いやすい位置に保つ	サムは学校生活を通して、さまざまな教室で装置を管理した	操作		X			70%	慣れている
社会的なやりとりや 日常活動の中で、コミュニケーション・システムの特定のページにある話題に関するメッセージを使うことができる (社会的なつながりや友情を形成する)	与えられたページから、サムはパズルの活動に関する適切なメッセージを選んだ	社会性		X			65%	慣れている
意図したメッセージが誤解されたり、無視されたり、システムが正しく読み上げなかったりした場合、メッセージを繰り返して表出する	好きなクラスメートとロールプレイをする	方略			X		60%	慣れている

スキル	能力レベル				
	萌芽期	萌芽期からの移行期	文脈依存期	自立期への移行期	自立期
言語	%	%	%	%	%
操作	%	%	%	%	%
社会性	%	%	%	%	%
方略	%	%	%	%	%



ダウンロード (日本語版)

詳細はDAGG3スキャンQRコード

DAGG3 参考文献

2009年にクラークとシュナイダーによって作成されたオリジナルのDAGGを基に、ヴィッキー・クラーク修士 (MS)、CCC-SLP (臨床実践能力認定-言語聴覚士 2023年) と共同でトビー・ダイナボックスが開発。 Patricia Dowden, PhD (1999), Janice Light, PhD (1989, 2014)の研究を参考にしました。